

アセスメントシート

学校生活編

マニュアル

目次

(関係機関用)《学校など》

日常生活の状況	1
遊び・運動・感覚・興味・関心	4
コミュニケーションの状況	5
集団生活・社会参加	7
学習の様子	9
理解や支援を必要とする行動	10
安全・事故防止の留意点	11
家庭との連携	11

お子さんの名前 _____

所属機関 _____

記入者名 _____

記入年月日 年 月 日

お子さんの年齢 歳



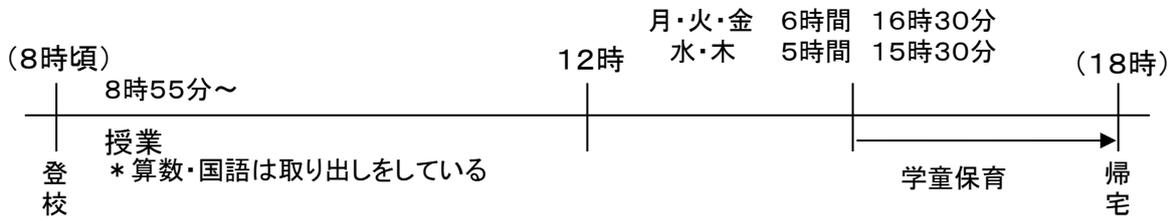
日常生活の状況



生活のリズム



平日(おおよその日課)



食事

◆食事の形態 流動食 きざみ食 一口大

当てはまるものに☑をしていきます。
何か特記事項があれば、空いているスペースに書きます。

◆自分で使える道具

食べ物 手づかみ スプーン フォーク おはし
飲み物 ほ乳瓶 コップ ストロー その他()

鼻注や経管栄養などの場合はここに書きます。

◆介助 全面介助(食べさせる) 少し手伝う 自分で食べる その他()

好き嫌いはあるが、残してはいけないと思っており、非常に時間がかかる。
様子: はじめに食べられる量かどうか、本人に聞くようにしている。

食べているときの様子で気になることや介助する内容を書いてください。

◆好きな食べ物

やわらかい食感のものを好みます。

◆嫌いな食べ物

葉物の野菜。
見た目で食べたり、食べなかつたりするものがあります。

◆食べてはいけないもの

アレルギーや医師から禁止されているもので、絶対に食べてはいけないものを書きます。

◆外食の様子(持っていくものなど)

気持ちが不安定になると、みんなと一緒に食事ができなくなることもあるので、一人でも食事ができるように個別のシートなどを持参します。

外食の際に、持っていくと便利なもの、必要なものがあれば書きます。

排泄

◆排尿					◆排便				
通常	<input type="checkbox"/> おむつ	<input type="checkbox"/> オマル	<input type="checkbox"/> 和式	<input checked="" type="checkbox"/> 洋式	通常	<input type="checkbox"/> おむつ	<input type="checkbox"/> オマル	<input type="checkbox"/> 和式	<input checked="" type="checkbox"/> 洋式
	<input type="checkbox"/> その他()					<input type="checkbox"/> その他()			
外出先	<input type="checkbox"/> おむつ	<input type="checkbox"/> オマル	<input type="checkbox"/> 和式	<input checked="" type="checkbox"/> 洋式	外出先	<input type="checkbox"/> おむつ	<input type="checkbox"/> オマル	<input type="checkbox"/> 和式	<input checked="" type="checkbox"/> 洋式
	<input type="checkbox"/> その他()					<input type="checkbox"/> その他()			
予告	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で予告する		<input type="checkbox"/> 誘ってほしい		予告	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で予告する		<input type="checkbox"/> 誘ってほしい	
	誘い方()					誘い方()			
リズム(2~3時間ごと)				リズム(学校ではほとんどしない。)			
介助	<input checked="" type="checkbox"/> 一人でできる		<input type="checkbox"/> 見守りが必要		介助	<input checked="" type="checkbox"/> 一人でできる		<input type="checkbox"/> 見守りが必要	
	<input type="checkbox"/> 手伝ってほしい		<input type="checkbox"/> 全面介助			<input type="checkbox"/> 手伝ってほしい		<input type="checkbox"/> 全面介助	

様子: 課外授業では我慢することが多い。

衣服の着脱

◆着 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子: ボタンやファスナーはまだできないので、手伝ってほしい。自分でやろうとするとときもある。

◆脱 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子: ボタンやファスナーがあるとできないが、それ以外は自分で脱ぐことができるようになってきた。

◆その他、気になること(衣服のこだわりなど)

服を着る順番にこだわっている。靴下→ズボン→シャツやトレーナーと決まっており、順番どおりでないときやり直そうとします。脱ぐときはいっぺんに脱ごうとするので、手順書を見ながら、順番に脱ぐようにしています。

衣服などや着脱時の順番などで配慮していることがあれば書きます。

衛生面

◆洗面・歯磨き

洗面 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

歯磨き 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

歯磨きについては、学校ではしなければいけないものと思っけてしていますが、かなり雑です。

様子: 顔を洗うのは苦手で、汚れがひどい場合はタオルなどでふき取るなど対応しています。

◆生理の手当て 開始時期: _____ 周期・日数: _____

生理痛 あり なし 量 多い ふつう 少ない

生理用品のこだわり なし あり(

わかる範囲で
書きます。

◆生理のとき 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助
*手伝っていることがあれば、余白に書いてください。

移動 (手段) 様子を書いてください。

◆室内: 歩いて移動します。まわりを注意して歩かないので、ぶつかったりすることが多いです。

◆戸外: 歩いて移動します。広い場所だとハイテンションになり、走り回ることも多いです。
靴のこだわりがあり、雨や雪の日に長靴を履こうとしません。

◆買い物先: 学校生活では今のところ、機会がありません。

◆移動の様子(初めての場所に行くとき、道路を歩くときなどの様子や注意事項)
初めての場所は集団ではテンションが上がります。
みんなより先に行こうとするので、列を乱します。

◆交通機関の利用(交通機関を利用するときの留意点など)
学校ではあまり機会がありませんが、バスなど乗り物に乗ると興奮します。

◆通学 方法 徒歩(集団登校) 徒歩(単独登校) 自転車 自家用車
公共交通機関 スクールバス その他(

条件 特になし 大人が付き添い登校する 友だちや兄弟姉妹と登校する
送迎が必要 その他(

◆通学時に気をつけること
登校時に上級生とトラブルになりやすい。本人が遅れがちになり上級生が注意すると怒る。

◆移動時に気をつけていること



日常生活での支援の状況と今後の課題

日常生活での支援状況や課題について書きます。
課題については、できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、
豊かな学校生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。

集団登校で、本人が遅れがちになることでトラブルになっている。
列の順番や遅れがちになったときにどうするか、登校班と本人とで話し合う機会を持つようにする。

遊び・運動・感覚・興味・関心



遊び・運動

様子や気になる点をお書きください。

◆お気に入りの遊び、運動器具、おもちゃ

学校にあるタイヤブランコが好きで、中休みはいつもそれで遊んでいる。雨の日は読書をしていることが多い。

◆苦手な遊び、運動器具、おもちゃ

体を動かすことが苦手。ドッジボールや鬼ごっこなど、四方を気にしながら逃げ回ることがいやで、そのようなゲームは避ける。

◆配慮することや気になること

体を使う活動に苦手意識を持っている。覚醒も高まりにくいので、学習に入る前(朝自習のとき)に意識的に体を動かすようにしている。

感覚

感覚は本人にしか、快、不快がわからないものです。過剰に反応したり、逆に鈍感だったりするような感覚はないか、よく様子を見て書きましょう。

◆好きな感覚・落ち着く感覚

音： 消しゴムのカスをくるくる丸めることが好き。 感触： 消しゴムのカスをくるくる丸めることが好き。 におい： 髪の毛のにおいをかぐ。 触られること： 触られること。

その他： かばんなどを入れるロッカーが好きで、そこに膝を曲げて小さくなって入ることがよくある。

◆苦手な感覚・苦手なもの・苦手な場所

音： サイレンの音 避難訓練の音 感触： 工作のり におい： 特になし 触られること： 急に触れると怒る。

怖がる場所： 暗くて怖いところ

落ちつかない場所： 全校集会など人が多いところ

その他：

興味・関心

◆興味・関心のあること

理科の実験に非常に興味を持っています。飼育活動も熱心に行っています。

遊び・運動・感覚・興味・関心についての支援状況と今後の課題

遊び・運動・感覚・興味・関心についての支援状況や課題について書きます。課題については、できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、豊かな学校生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。

全校集会など大勢の場でなかなか落ち着けないので、本人の場所(位置)を検討しています。なお、音への過敏があるように思うので、耳栓などを使うことも検討中。一度、本人の姿を〇〇センターの先生に観察してもらい、対応の仕方について一緒に話し合う予定。

コミュニケーションの状況



表現の仕方



コミュニケーションは、本人の意思を確認したり、状況を伝えたりなど安心して生活するために必要なものです。できるだけ具体的に書きましょう。

本人から他者へのコミュニケーション。

◆表現の様子

- 発語なし 要求は言える 二～三語文は話せる
会話ができる その他

様子：日常の会話はできますが、なかなか言いたいことを適切に表現しにくいところがあります。

◆ほしいものがあるとき

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

様子：「〇〇くんはどう？」「〇〇くん、△△はありますか？」と個別に聞く必要があります。

◆何かやってほしいとき

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

様子：「ほしいものがあるとき」と同じ配慮が必要。

◆カードなど使っているもの なし あり

◆カードの内容や使い方

集団では、言いたいことがなかなか言えないので、「少し休憩したいです」
 「本を読んでもいいですか？」「保健室に行きます」「トイレに行きたいです」
 様子：「わかりません」などの表現カードを使って、本人も活用できている。

◆困ったときに援助を求める

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

様子：カードを使うようになって伝えられるようになってきたが、何に困っているのか説明が難しいときがある。

◆その他、配慮することや気になること

友達とトラブルになったときの状況説明が難しい。問い詰めると泣いてしまうこともあるので、本人に聞くときは紙と鉛筆を用意して、絵にしていきながら、順序立てて聞くようにしている。



理解の仕方



他者から本人へのコミュニケーション。

◆伝わりやすい方法

絵カード 写真 ジェスチャー 文字 具体物など その他

様子・やり方:

◆わかりやすい声のかけ方(配慮事項)

「〇〇くん」と注意喚起をしてから話すようにします。

◆その他、配慮することや気になること

時間割の変更がある場合は、本人と家族で当日の朝に確認し、簡単な流れ(日程)をメモして本人に渡します。

人との関係



◆好きな人のタイプ: 温和で世話好きな女の子

◆苦手な人のタイプ: 大きな声の人 白衣を着た人

◆その他(人の多さや支援者が変わった場合の対応、家族、友達との関係など)

人が多く、騒がしいところは苦手。初対面の人も苦手。
 白衣を着た人が怖いので、内科健診ではお医者さんに白衣を脱いでもらうようお願いしている。
 最近、同性の友達ができ、帰宅後約束して友達の家遊びに行くことができたようだ。

コミュニケーションについての支援の状況と今後の課題

コミュニケーションについての支援状況や課題について書きます。
 課題については、できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、
 豊かな学校生活にむけて、つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。

なかなか言いたいことが言えないので表現カードを使っているが、カードには限界もあるようにも思う。
 周囲の人に自分の気持ちをうまく伝える力を育てるために、通級指導教室の利用も視野に入れて支援内容を考えていきたい。

集団生活・社会参加



チェックします。(集団生活 あり なし)

集団への参加

様子について、補足する内容があれば空いているスペースに書きます。

- ◆ 同年代(友だち)とのかかわり なし あり
- ◆ 交流学級でのかかわり なし あり
- ◆ 集団生活での状況やそれに対する本人の思い

友達の動きや遊んでいる様子を見るのは好きですが、自分からかかわろうとすることは少し嫌います。少人数の活動が過ごしやすいようです。

自己選択、決定

- ◆ 2つまたは複数のものからの選択 できない できる

具体物を見せて「どっち？」と聞きます。
仕方: どちらでもないときは選びませんので、複数あるときは順番に提示します。

- ◆ 日課やスケジュールにしたがっての行動 できない できる

スケジュールを自分で見て行動することができないので、随時、
仕方: 活動の始まりと終わりはスケジュールを見るように注意喚起します。

- ◆ 状況や状態、興味に応じた自分での行動 できない できる

仕方: 本人自身で適切に状況判断することはできません。随時、声をかけてください。

集団生活・社会参加についての支援状況と今後の課題

集団生活・社会参加についての支援状況や課題について書きます。
課題については、できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、豊かな学校生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。

スケジュールを見て、次の行動が分かるようにしています。
自分でスケジュールをチェックしないので、注意喚起をしていますが、注意喚起をせずに自分からスケジュールが見られるように検討しています。



社会性および社会生活に必要な技能

様子や手助けの内容などを書きます。

◆お金の価値の理解

わかる 手助けが要る (硬貨を見て「〇円」と答えることはできますが、価値はまだ理解できません。)

◆買い物

できる 手助けが要る (ほしいものは言えますが、いくら払うとよいかわかりません。)

◆公共交通機関の利用

できる 手助けが要る (まだ一人では利用したことがありません。)

◆時計の利用

できる 手助けが要る (今、何時かはわかりますが、あと何分で始まる、終わるなどの時間感覚がなく、具体的に知らせる必要があります。)

◆カレンダーの利用

できる 手助けが要る (その日が終わるとカレンダーに×印をつけます。)

◆自分の住所・氏名・電話番号についての理解と聞かれたときの答え方

できる 手助けが要る (名前は言えますが、住所・電話番号は言えません。)

◆家事手伝い

できる 手助けが要る (掃除など、手順書を利用しています。)

◆携帯電話の活用

できる 手助けが要る (まだ利用していません。)

◆電話の利用

できる 手助けが要る (まだ利用していません。)

◆スケジュール管理

できる 手助けが要る (いつもと同じスケジュールであれば、習慣になっているので、できますが、自分でスケジュールを確認することは難しいです。)

◆基本的な挨拶

できる 手助けが要る (日常的な挨拶などはできますが、状況に合わせて「ありがとう」「すみません」などはなかなか言えません。)

学習の様子



学習

◆好きな教科

〔 理科。特に実験や生き物関係。 〕

◆苦手な教科

〔 国語と算数の文章題や図形。 〕

◆学習時の様子

しなければいけないことに注意を向けることが困難なので、座席はできるだけ刺激の少ない場所に座ってもらうようにしています。
朝の始まりや、休み時間にしっかり体を動かしておく、わりと授業に集中できているので、本人にも好きな遊びなどでしっかり遊ぶように伝えています。



* チェックリストなどの資料があればはさんでおきましょう

行動

◆休み時間

体を動かすことが好きなので、外に出て遊具などで遊ぶことが多いです。
子どもたちの間で、サッカーが流行り、勝った、負けたで、ときどきトラブルになることもあります。

◆係り活動

生き物が好きなので、生き物係です。世話は忘れずにできています。

◆当番活動

明日は自分が当番だ、など次の日のことを意識してスケジュールを見ることができないので、前日と当日の朝に確認します。納得すると、意欲的に取り組むことができます。

◆部活動

まだ行なっていません。

◆クラブ活動

まだ行なっていません。

◆その他の生活時間(掃除など)

すぐに気が散って、最後まで掃除に取り組むことができません。簡単な手順書を作成したら、わりと意欲的に取り組みました。

学習についての支援状況と今後の課題

学習についての支援状況や課題について書きます。
課題については、できないことや問題となる行動のみに焦点をあてるのではなく、豊かな学校生活にむけて、つけてほしい力、可能性などを書くようにします。

学習態度は以前に比べ、離席なども少なくなり、良好です。
空間認知に課題があるのか、図形の問題に苦戦しています。
今度、専門機関で検査などが実施されるときに、評価していただけるよう、連絡する必要があります。
なお、友達との関係が築けるようになったものの、休み時間や掃除の時間のトラブルが気になります。

理解や支援を必要とする行動



チェックします。(あり なし)

- ①自傷 ②他傷 ③こだわり ④器物破損 ⑤睡眠の乱れ ⑥多動 ⑦不注意
 ⑧パニック・精神的不安定 ⑨感覚の過敏さ・鈍感さ ⑩かん黙 ⑪ひとりごと ⑫常同行動 ⑬その他

番号と具体的内容	きっかけや対処法、その他注意する点など
<p>該当する番号と内容を書きます。</p>	<p>支援がうまくいっている場合も、いない場合も、何か行っていれば書きましょう。</p>
<p>②他傷 ⑧パニック 本人の思いどおりにならなかったときにパニックになることが多く、目の前にいる人をたたいたりします。</p>	<p>パニックの原因がつかめないときもあり、対応が定まっていない。ただ、周りや本人がけがをしないよう、配慮している。</p>
<p>③こだわり</p>	<p>勝ち負けへのこだわりがある。負けることもある、など、前もって伝えているが、なかなかうまくいかないことも多い。</p>
<p>⑥多動 ⑦不注意 多動というよりは、衝動的な動きが多い。注意のコントロールもうまくいっていないので、刺激が多いところではなかなか落ち着きにくい。</p>	<p>落ち着けない場所での本児の行動をあらかじめ予測して、対応を考えておく。 例えば、何か役割を与えておくなど、他の刺激に容易に反応しないよう、工夫する。</p>
<p>⑬その他 ときどき、不安が強く、活動に参加できないときがある。</p>	<p>できないかもしれない、また注意されるかもしれないと思うようになったのか、本人から避けるようになっている。そのようなときは学校で体制を組んで1対1で対応し、できるだけ成功体験として経験できるようにしている。近々、専門機関に相談する予定。</p>
<p>該当する行動などはなくても、気になることがあれば、「⑬その他」として書いておきます。</p>	<p>相談しているところがあり、取り組んでいることがあれば、書いておきましょう。</p>

安全・事故防止の留意点



- ◆緊急時に配慮すること なし あり

内容

避難訓練については前もって知らせるのでだいぶ慣れてきたようですが、本当の緊急時にはおそらくパニックになると思われるため、緊急時の本児への対応をあらかじめ校内で取り決めている。

- ◆個別的に配慮すること なし あり

内容

休み時間に友達とトラブルが増えてきているので、休み時間は担任とその他の職員で、子どもたちの様子を見られるようにしている。
ほとんど学校で発作が起きることはないが、てんかんもあるので、体育、特に水泳などは配慮する。授業中、ときどきふらふらと教室を出てしまうこともあるので、他の先生にも本児の様子について知らせてある。

家庭との連携

内容 保護者との連絡の方法や懇談など、保護者との連携内容を書きます。

学年末に定期的な懇談を行なっている。
個別の指導計画をもとに、現状を連絡帳や電話などで知らせるようにしている。
保護者が主体的に相談された機関へ、保護者の了解のもと連絡をとり、連携を図っている。

